

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ウラナミシジミ	シジミチョウ科	クズの花に集まる 移動性の高いシジミ	X	○	○	全国
成虫発生時期 (月)						
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12						
○ 食草		食樹	発生回数/年		越冬形態	
エンドウ、クズ、ハギ (マメ科)			地域による		地域による	



川崎市 多摩川土手 9月25日 (2016年) キバナコスモスで吸蜜



川崎市 多摩川土手♂ 10月2日 (2011年)



川崎市 多摩川土手 10月6日♀ (2019年)
アレチハナガサ



川崎市 多摩川土手♀ 9月30日 (2018年) ツユクサにとまる



川崎市 多摩川土手 10月14日 (2007年)
後羽尾状突起周辺の橙・黒の紋に金緑青色のアイシャドーのような斑文が目を引く

多摩川土手にクズの花が咲き出す頃に現れますが移動性が高く、発生を繰り返しながらどんどん北上してついには北海道にまで達し、越冬できず死滅するという奇妙な行動を繰り返しています。越冬できるのは関東地方南部沿岸以南の温暖な地域に限られるようです。マメ科植物の花、蕾などに産卵し、ハイム周辺では生田緑地も含めてクズの開花に前後して現れそれ以前の発生は見たことがありません。個体数が多く互いにしつこく追いかけるので、じっととまることが少なく観察にも撮影にも苦勞するシジミチョウです。



川崎市 多摩川土手♂ (中野島) 10月6日 (2019年)



川崎市 多摩川土手 (稲田堤) 9月21日 (2019年) アレチハナガサで吸蜜



川崎市 多摩川土手（久地）10月14日（2021年）



川崎市 多摩川土手（中野島）10月21日（2021年）



川崎市 多摩川土手（久地）10月31日（2021年）
クズの蕾に産み付けられた卵



↑
川崎市 多摩川土手（中野島）
9月27日（2020年）
土手一帯に広がるアレチウリ



↑
川崎市 多摩川土手（久地）
11月16日（2022年）
センダングサ廻りで追いかける♂♀
↓

